

全国瞬時警報システム（Jアラート）への対応について

1 発生事例について

- (1) 大規模自然災害（地震・津波）
- (2) 武力攻撃事態（弾道ミサイル発射等）・存立危機事態

2 方針について

大会に関わる全ての人の生命及び安全を確保するために、最大級の努力と配慮をする。

- (1) 即座に競技を中断する。
- (2) 発生事象内容を確認して、必要に応じて選手・役員・観客を避難させる。
- (3) 行政の指示に従い、実施不可能な場合は延期又は中止する。
安全が確認できたら再開する。

3 競技運営について

事前に大会の中断・待機・避難・再開等の計画を立て、大会関係者に周知しておく。

4 競技の再開について

競技中断後は、警報等が解除され、負傷者等の有無を確認・処置を行い、会場の安全が確認されたうえで、本部の協議をして再開を決定する。

5 その他

その他、緊急事態が発生した場合は、本部で対応を協議し、安全な大会運営に努める

〈沖縄県中学校体育連盟規定より抜粋〉

※各競技施設の対応策も踏まえ、安心安全な大会運営に努める。

各競技の対応

サッカー(外 [°] ック)	施設としての規則やマニュアルなどは無い。県中体連の対応策に従って、サッカー管理棟や野球場を使って屋内に避難する。
空手道(空手会館)	屋内の窓から離れたところへ避難。 施設のマニュアル通り避難指示を出す。
剣道(屋部中学校)	体育館内での待機。(選手、大会関係等) 応援の人数が多い場合は、校舎1階にも避難場所を設定する。移動経路、移動の時の諸注意は確認中。
野球(外 [°] ック・金武 ^ス ク)	両球場とも、特にマニュアルは無い。県の対応策に沿って、競技を中断し球場内やホテルゆがふいんに避難する。
ソフトテニス(庭球場)	特にマニュアルは無く、雨天待機場所の室内運動場に避難する。
バスケット(本部町民・今帰仁村営)	施設としての規則やマニュアルなどは無い。県中体連の対応策に従って、施設側と連携し対応・避難する。 外にいる保護者等は、体育館内に避難させる。
バレー(21 体育館)	施設として、国から出されているマニュアルに沿って行う。県中体連の対応策を含め、施設側と連携し対応・避難する。外にいる保護者等は、体育館内に避難させる。
卓球(本部中学校)	体育館内での待機。(選手、大会関係等) 応援の人数が多い場合は、校舎内にも避難場所を設定する。
硬式テニス(今帰仁村営)	施設としての規則やマニュアルなどは無い。県中体連の対応策に従って、施設側と連携し対応する。